

《 平成30年度の経過と評価 》

平成30年度は、重点課題として、運営基盤・体制の強化・地域生活支援事業再編成に向けた事業体制作り・人材育成・支援力の向上/地域活動への取り組み等を目標に掲げた。人員配置等の運営体制確認・求められる記録、簿冊類等を適切に管理し、法令を遵守した運営・支援体制の確認を行っていく必要がある。

事業所全体では、

利用される方又はご家族の高齢化を考える機会が多くあった。家族の緊急入院などのための緊急措置として短期入所利用なども件数が増加傾向にあった。障害福祉サービスから介護保険に移行されるケースも数件みられた。

又今年度は、通院介助のニーズが高く（歯科・糖尿病など）丁寧に行うことを心掛けた。一人ひとりが健康に過ごせるよう事業所と連携し支援した。

長期休みについても健康に過ごせることができるよう計画的な支援を心がけた。利用者ニーズを確認しながら実施できるようにするため、満足度調査を行った。個別支援計画に基づいた支援・業務の引き継ぎや情報共有については不十分なところが見られるため、サービスの質が低下しないようお互いに確認し、意識を高めていく必要がある。

来年度は、人材確保し利用者ニーズに応えることができる支援体制を目指し、個別支援計画に基づいた支援。共通な支援方法を全体で周知・確認しサービスの質の向上を図る。

その他、スタッフ間での親睦会も定期的実施し、個々ではなくチームワーク・支援員一人ひとりの得意を活かすことのできる（モチベーションの向上）活気ある働きやすい職場づくりを目標とする。30年度は3名の職員を確保できた。内1名は初任者研修を修了し、来年度に向け安定した事業運営をできる環境を整えていく。

各事業の振り返りとして、

短期入所事業は、童里夢・奏楽の協力もあり、週5日（月・火・水・金・土）の受け入れをし、緊急対応も行えた。しかし、利用日や利用受け入れ人数・時間を制限（調整）した支援体制をとり、新規希望者を含めた多くの利用者ニーズに応えることができていない。

日中一時支援事業は、平日の日中時間帯（主に火・木・金曜日）に実施している。家族のニーズとのずれがあり（送迎がない・時間が短い等）利用人数は増えていないが、緊急受け入れ・短期入所へつなげていく為には必要となる事業である。毎月の予定（活動内容）を計画することで内容の充実も図ることができ日中の過ごす場所として利用される方もみえた。少人数での支援で本人のかすかな変化にも気づくことができ安心して過ごして頂けた。今後は、事業継続の見直しが必要となっているが、法人・事業所の必要性、利用者ニーズ等をしっかり検証していかななくてはならない。

居宅介護事業については、身体介護、家事援助等、地域生活（自宅）を送るために重要な支援である。すたあとにおいては、十分な件数を対応するまでに至っていないが、定期的な利用、特に日中の複数対応ができるよう調整に心がけた。安定した受け入れと質の向上をはかる。又他事業所との連携を図りつつ、自事業所でも受け入れを広げていけるようさらに勤務内での調整・人材確保・

育成を進めていかななくてはならない。また人員配置を遵守し、よりよいサービスを継続し提供できるよう努めていく。

移動支援事業では、

特に利用希望がある平日の夕方や休日は、短期入所等と時間が重なるため、利用人数（回数）を伸ばしていくことができなかつた。人材確保をしつつ、引き続き利用者ニーズを丁寧に聞き取り取りこぼさないよう対応していく。

（本人から毎回伝えられない人も多いため/床屋/買い物など定期的に利用希望している方などはこちらでニーズ把握し対応するケース）

《 重点課題に対する取り組み 》

1. 運営基盤・体制の強化（運営・管理体制、支援体制）

前年度を踏まえ、業務の見直しを行い改善傾向にあるが、日々の業務と利用者支援とのバランスがとれなかつた。少人数体制でありながら事業が多く、管理に不備もあつた。一人ひとりの役割を整理し、しっかりできる体制を整えていく必要がある。優先順位を守れず期限を過ぎてしまうことがあり、改善の必要がある。再来年度の第三者評価を目指し体制を整えていく。

2. 地域生活支援事業業再編成に向けた事業体制作り

ご本人、ご家族の思いを大切に、相談支援事業所・ぱあと（グループホーム）との連携、情報共有、対応することが出来た。しかし、目先の業務に追われてしまい中長期的な視点に立った事業の在り方の検証、取捨選択は十分行なうことが出来なかつた。今後は課題（ニーズや報酬など）を整理し、安定した事業運営が行えるようにしていく。

3. 人材育成／支援力の向上

一人仕事にならないように、複数の勤務を設定し情報共有しやすい環境の設定を行った。今年度は法人全体研修で施設見学の話が出たため見学会を行ない、他の事業所の支援方法などを学びフィードバックすることが出来た。事業内容の理解や現場の支援に活かせるものが増えて、支援の意識を向上することができた。外部研修等も設定し機会を設け支援力の向上を行った。昨年度から引き続き行動援護資格の取得（昨年度3名今年度1名）を行ない、支援員のスキルアップを行なった。

4. 地域活動への取り組み

今年度すたあと夏祭りを予定したが、台風接近の為中止となってしまった。しかし、準備を通して近隣事業所・大学・高校との連携、協力体制ができた。

また、障害を持つ親を対象として、マザーズサロンを2回開催した。

5月は、『親亡き後を考える』11月は、『食の安全について考える』をテーマに掲げ好評を得た。

12月は、近隣住民に呼びかけ『地域の災害について講演会』と災害食（パッキング）について体験会』を行政、大学と連携し地域との情報共有を行う等、精力的に取り組むことが出来た。今後も継続的に行えるように計画していきたい。

利用実績（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(1) 指定居宅介護等事業

①居宅介護	— 男：17名 女：18名 【計：35名】	} 【合計：42名】
②行動援護	— 男：5名 女：2名 【計：7名】	
③重度訪問介護	— 男：0名 女：0名 【計：0名】	
④移動支援	— 男：16名 女：19名 【計：35名】	

(移動支援事業)

ヘルパー利用： 指定居宅介護等事業（行動援護を含む）、指定移動支援事業

※実績人数は利用実人数

月		居宅介護 身体介護	居宅介護 家事援助	居宅介護 通院介助	行動援護	移動支援 身体あり	移動支援 身体なし	合計
4月	実績人数	13名	8名	6名	4名	9名	11名	51名
	実績時間	74.5h	39.5h	12.5h	21.5h	39.5h	35.5h	223h
5月	実績人数	13名	7名	6名	4名	13名	13名	56名
	実績時間	78.5h	26h	12.5h	22.5h	67h	64h	270, 5h
6月	実績人数	13名	7名	7名	4名	8名	10名	49名
	実績時間	72.5h	28.5h	14h	29h	30h	28h	202h
7月	実績人数	11名	7名	6名	4名	7名	12名	47名
	実績時間	78.5h	28.5h	13h	26h	34.5h	33.5h	214h
8月	実績人数	13名	5名	6名	4名	6名	8名	42名
	実績時間	68.5h	29h	15.5h	20h	24.5h	20h	177, 5h
9月	実績人数	12名	6名	6名	4名	7名	10名	45名
	実績時間	59.5h	26h	16h	28h	30h	27.5h	187h
10月	実績人数	14名	7名	4名	6名	8名	13名	52名
	実績時間	73.5h	30.5h	10.5h	32h	43.5h	44h	234h
11月	実績人数	15名	8名	8名	6名	15名	13名	65名
	実績時間	94.5h	33.5h	33h	32.5h	64.5	40.5	298, 5h
12月	実績人数	17名	7名	5名	6名	7名	11名	53名
	実績時間	105.5h	30h	13h	38h	41.5h	37h	265h
1月	実績人数	15名	6名	9名	5名	10名	12名	57名
	実績時間	81.5h	23.5h	22.5h	24h	40h	33h	224, 5h
2月	実績人数	16名	8名	9名	6名	7名	11名	57名
	実績時間	79h	26.5h	21h	35h	41.5h	33.5h	236, 5h
3月	実績人数	15名	7名	8名	6名	10名	8名	54名
	実績時間	80.5h	35.5h	15.5h	40h	53h	27.5h	252h
合計	実績人数	167名	83名	80名	59名	107名	132名	
	実績時間	946h	357h	199h	349h	509, 5h	424h	
月平均	実績人数	13.9名	6.9名	6.6名	4.9名	8.9名	11名	
	実績時間	78.8h	29.7h	16.5h	29h	42.4h	35h	

(2) 指定短期入所事業

男：46名 女：25名 【計：12名】

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	障害児
人数	0	2	6	20	15	13	12

実績人数・宿泊日数

※実績人数は利用実人数

月	実績人数	宿泊(日数)	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	障害児	平均人数(1日)
4月	28名	20日	0	0	3名	2名	8名	7名	8名	4名
5月	33名	20日	0	1名	3名	5名	9名	7名	8名	4.6名
6月	37名	22日	0	1名	3名	5名	9名	10名	9名	4.4名
7月	35名	21日	0	1名	2名	6名	9名	10名	7名	4.3名
8月	35名	19日	0	0	2名	8名	8名	9名	8名	4.2名
9月	39名	20日	0	1名	3名	7名	9名	10名	9名	4.9名
10月	39名	21日	0	0	3名	10名	10名	11名	5名	4.8名
11月	46名	22日	0	2名	3名	11名	11名	13名	6名	5名
12月	42名	19日	0	1名	3名	11名	9名	11名	7名	5.3名
1月	39名	19日	0	1名	3名	10名	11名	12名	4名	5.1名
2月	38名	20日	0	1名	3名	12名	5名	11名	6名	4.7名
3月	40名	21日	0	2名	3名	12名	6名	13名	4名	4.8名
合計	451名	244日	0	11名	34名	99名	104名	124名	81名	
月平均	37.6名	20.3日	0	0.9名	2.8名	8.2名	8.6名	10.3名	6.8名	4.7名

(3) 指定日中一時支援事業（地域生活支援事業）

男： 7名 女： 5名 【 計： 12名 】

※実績人数は利用実人数

月	実績 人数	延べ 人数	利用 日数	身体介護 伴わない	身体介護 伴う	重心	平均人数 (1日)
4月	7名	20名	14日	1名	9名	10名	1.4名
5月	5名	19名	14日	2名	7名	10名	1.4名
6月	5名	17名	17日	0	6名	11名	1名
7月	5名	19名	13日	0	7名	11名	1.5名
8月	9名	27名	12日	1名	15名	11名	2.3名
9月	5名	13名	13日	1名	3名	9名	1名
10月	7名	19名	13日	2名	7名	10名	1.5名
11月	4名	14名	12日	0	4名	10名	1.2名
12月	5名	17名	11日	0	7名	10名	1.5名
1月	5名	11名	11日	0	3名	8名	1名
2月	5名	14名	12日	0	5名	10名	1.2名
3月	9名	18名	14日	1名	6名	11名	1.3名
合計	71名	208名	156日	8名	79名	121名	
月平均	5.9名	17名	13日	0.6名	6.5名	10名	1.3名

(4) 福祉有償運送事業

男： 19名 女： 21名 【 計： 40名 】

月	移 送	
	実人数	回数
4月	19名	31回
5月	18名	29回
6月	13名	23回
7月	13名	24回
8月	12名	25回
9月	17名	27回
10月	18名	29回
11月	21名	40回
12月	17名	30回
1月	18名	26回
2月	16名	24回
3月	14名	20回
合計	196名	328回
月平均	16名	27.3回

(5) その他

・入浴利用（毎月1名）

4月：8回、5月：7回、6月：9回、7月：9回、8月：8回、9月：6回
10月：8回、11月：9回、12月：8回、